



レオパレス21 ミャンマーオープン 第3ラウンド戦評

ミャンマー/ヤンゴン郊外のパンラインゴルフクラブで
レオパレス21 ミャンマーオープン2017の第3ラウンドがスタート。
気温31度の晴天のもと、昨日までの予選を通過した75選手により
この日も熱戦が繰り広げられた。

2日目まで終わってトーナメントリーダーでスタートした宮里優作選手は
前半の4番でイーグルを奪って一時13アンダーまで行くものの、
その後はなかなかスコアを伸ばせず、結局この日はイーブンパーでプレーを終え、
トータル11アンダーのままフィニッシュ。

一方、同じ組でプレーしたK・T キム選手は本日3アンダー、
トータル10アンダーまでスコアを伸ばし、
トップを走る宮里優作選手を1打差まで追いつけた。

明日の最終日は日本ツアーでもプレーする2人の優勝争いとなり、
宮里選手は「最高の相手。優勝争いするには最高の展開ですね。。」
と歓迎する一方、「でもよりによってK・Tですからね。。。」と警戒も怠らなかった。

1打差で追う立場のK・T キムは「優勝するには明日4アンダーが必要。
トータル15アンダーで大丈夫なんじゃないかな」と優勝スコアを予想。

日本でもお馴染みの2人が明日、ミャンマーで激突。

2年目を迎えるレオパレス21 ミャンマーオープンの今年の覇者は誰になるのか、
明日の最終日が注目される。

